

教科目名 機械製図 (Machine Drawing)

学科名・学年 : 機械工学科 2年

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教員 : 樋口理宏

授業の概要			
1年で学んだ基礎的な図面に、更に必要な精度(はめあい、面肌、幾何公差等)の付加価値をつけるための指示法と、機械要素の図示、規格を学び機械製作図の書き方を身に付ける。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(B2)
(1) 製作図に製作精度の指示ができる。(定期試験と課題)			
(2) 汎用的な機械要素の図示、規格の指示が正しくできる。(定期試験と課題)			
回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1-7	第2章 製作図 2-4 はめあい、幾何公差、面肌、材料記号	機械部品の製作精度に必要な「はめあい」、「幾何公差」、「面肌法」および材料記号を図面に指示できる。	【理解の度合い】 【課題の点数】 点
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9-11	前期中間試験の解答と解説 第4章 機械要素の製図 4-1 ねじ	代表的な機械要素の中の「ねじ」と「軸、軸継ぎ手」の図示、規格の指示ができる。	【理解の度合い】
12-14	4-2 軸と軸継ぎ手		【課題の点数】 点
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
16-18	4-3 軸受け	代表的な機械要素の中の「軸受け」と「歯車」の図示、規格の指示ができる。	【理解の度合い】
19-22	4-4 歯車		【課題の点数】 点
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24-25	後期中間試験の解答と解説 4-5 プーリースプロケット	代表的な機械要素の中のプーリー、スプロケット、ばね、溶接の図示、規格の指示ができること。	【理解の度合い】
26	4-6 ばね		【課題の点数】 点
27-29	4-7 溶接		【試験の点数】 点
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
履修上の注意	課題作図は授業時間内で終わらない場合、持ち帰り次回の授業までに完成させること。		【総合達成度】
教科書	林 洋次 他, 「機械製図」、実教出版		
参考図書			
関連科目	機械製図、機械製図、機構学		
総合評価	達成目標の(1)(2)ともに、定期試験50%、課題作図(小テスト含み)50%で評価する。学年末総合評価は4期の平均で評価し60点以上を合格とする。		【総合評価】 点